

教育研究所努力目標：「生きる力」をはぐくむ、児童生徒活動の振興と教職員研修の充実

お礼のことば

天草教育研究所
 副所長 稜南中学校 藤本 信次郎



昨年度末から、世界中に新型コロナウイルス感染者が増加し、日本や熊本県でも感染者の増加が危惧される中、令和二年度が始まりました。

天草教育研究所は、「生きる力」をはぐくむ、児童生徒活動の振興と教職員研修の充実—を目標に掲げ活動を開始しました。しかし、

全国に緊急事態宣言が出され、四月十五日から五月末まで、各小中学校は、臨時休校を余儀なくされました。

児童生徒や教職員・保護者の方が毎年楽しみにされていた小体連・中体連関係の各大会や伝統的に高いレベルを維持してきた文化展、音楽会、英語発表会などの行事を中止いたしました。

感染防止を行うことで児童生徒、教職員、そして、保護者や家族の方々の命を守ることを第一優先と考え

た末の決断でした。児童生徒が活躍する場をなくしたことは大変申し訳なく思います。しかしながら、天草の小中学校がそれぞれ知恵を絞りながら、各学校で代替策をしていただいたことに感謝いたします。

二学期に入り、各部会や各部門において、感染予防を行いながら、工夫された研修をしていただきました。

コロナ禍の中でも、天草の先生方の熱い思いは消えていないことを感じた次第です。

コロナの時代は、試される時代だと思います。収束がまだまだ見えませんが、状況を踏まえながら、みんなで一致団結して、天草の児童生徒の命を守り、健全育成を図っていくために工夫改善に努めていければと思います。

最後に、各市町長様、教育長様の引き続きのご支援をはじめ先生方のご協力をお願いいたします。お礼の言葉といたします。



各部会より 一年を振り返って

上天草部会・天草部会・苓北部会

上天草

部会長 今津小学校 校長 緒方 義弘

上天草部会は、「教育の全分野にわたり、理論や技術を研究し、上天草市の教育振興と充実と寄与すること」を目的として、これまで事業を実施してきました。

しかし、本年度はコロナ禍により、以下のように規模を縮小となりました。

【研修部】【体育部】
 本年度はそれぞれの事業を中止。各学校において、校内研修の充実による学力向上、児童の体力向上に努めてきました。

【児童文化部】
 音楽会は中止。描画展、毛・硬筆展、科学・発明工夫展等は、各学校で審査して展示し、鑑賞しました。市から業務委託料をいた



天草

部会長 本渡東中学校 校長 大川 隆嗣

天草部会は、三つの専門部で、児童生徒の文化及び体育の振興に関する事業を行っています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、児童生徒の文化・体育的行事の多くが中止になりました。事業は縮小しましたが、市教委にご支援をいただきながら事業を行ってきました。

【中学校体育部】
 天草郡市夏期中体連代替大会、駅伝競走大会に参加しました。

【児童文化部】
 部会運営にあたっては、天草市から多額の補助金をいただきました。各専門部の役員の先生方や各学校の世話人・事務の先生方にはお世話になりました。

【児童生徒文化部】
 毛硬筆展や描画展については各校で取り組み、校内審査により優秀賞並びに入賞を決めていきました。また、児童生徒が取り組んだ作品を発表する場として、苓北町教育委員会のお取り計らいにより、地域の公民館や集会所に展示させていただきました。科学・発明工夫展については、各校から郡市審査会へ作品を出品

【体育部】
 小学校の記録会関係は、すべて中止となりました。中学校は、夏季中体連の代替大会で女子バスケットが優勝するなど、健闘しました。さらに、男子駅伝は県大会に出場し、素晴らしい成績を収めました。

部会運営が難しい一年でしたが、町当局並びに町教育委員会のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

【児童生徒文化部】
 天草郡市文化展のすべての部門の展示が中止になりましたが、授業等で取り組んだ作品への励まし、評価に活用していただくこと各



一年間をふり返って 各部活動報告

研修部

今年度の部門別研修は、新型コロナウイルス感染症防止対策に配慮しなければいけませんでしたが、教職員研修の充実という努力目標の実現のため、時期、内容、参加人数の制限等を各部門会長と協議し、可能な限り実施してきました。やむなく中止した事業や実践発表会に切り替えた研究大会等もありましたが、各部門の先生方の創意工夫と熱意のおかげで、現場の職務に生かせる研修となりました。来年度は全事業が実施でき、私たちが教職員の資質向上に、更に寄与できる部門別研修会になるよう願っています。

調査委員会の所報や教育の概要、HPの原稿依頼では毎回快くご協力いただきありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

体育部(中)

主催行事について、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、夏季大会及び陸上大会を中止しました。幸い、感染状況が少しずつ収束してきた七月に、競技団体のご協力により、協会主催・郡市駅伝大会(十月二十三日)中体連共催として代替大会を開催していただいた事は大変有り難く思います。

また、主管行事である、県・九州中学校駅伝競走大会は、コースが一部使用できなくなり、熊本市に移して実施しました。次年度は、県駅伝を天草で開催予定です。

なお、主催行事は駅伝大会を、方法を変えて実施しました。

男子一位 本渡
女子一位 稜南

児童文化部

令和二年度における児童文化行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部を除いて、すべての発表や展示が中止となりました。唯一実施した科学・発明部門からは、「科学展の出品点数は小学校が七十七点、中学校が五十五点、配布の際にお知らせしたとおり、五和町二江出身の書家池田光希様に多大なご協力をお願いしました。この場をお借りして、

賞状



体育部(小)

小体連事業は、水泳記録会、陸上記録会、体育実技指導者講習会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、長縄大会チャレンジのみ実施しました。来年度は、各事業を実施し、児童の体力づくりの意欲向上を図りました。

長縄大会チャレンジでは、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、十一月、一月を実施期間とし、学級や縦割りグループで「八の字跳び」に挑戦し、三分間の回数を競い合いました。記録を集約し、各学校にメール配信することで、冬場の体力づくりの意欲向上を図りました。



改めましてお礼申し上げます。令和三年度は、新しい生活様式のもと、各行事の実施に向けてがんばってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

令和三年度は、新しい生活様式のもと、各行事の実施に向けてがんばってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

令和三年度は、新しい生活様式のもと、各行事の実施に向けてがんばってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。



新採一年を経て



新型コロナウイルス感染症が流行している中で河浦中学校での勤務が始まり、ここまでの約九か月が経ちました。一年生担任、生徒会担当、剣道部顧問に加え、数学の授業を一人で受け持つこととなり、不安と期待の両方を感じていたのを思い出します。自身の仕事が生徒の将来を大きく左右することで悩むこともありましたが、そんな時、周りの先生方の支えや生徒との様々な関わりを通して得られた感動が、前に進む勇氣に繋がりました。今後この初任者としての一年間を思い出し、様々な困難を乗り越えたいとともに、感謝の気持ちと謙虚な心を忘れずに天草の教育活動に専念していきたいと思ひます。



河浦中学校 教諭 猪口志 榎調



倉岳中学校 教諭 山川 征九郎

今年度は新型コロナウイルス感染症により休校からのスタートでした。子供たちに会えない日々、教員という仕事は子供たちがいることで楽しく、やりがいがあるのだと改めて感じる事ができました。また、日常生活など多くのことがいつもとは違う形でした。体育大会では、どうしたら子供たちが充実感を得ることが出来るかを考え、先生方や保護者、地域の方々に協力して頂き、子供たちが最後まで精一杯頑張る姿、勝つても負けても涙を流す姿を見ることができました。この一年間の経験を来年度以降にも活かして、子供たちの笑顔のために、これからも全力で頑張りたいと思ひます。



松島中学校
教諭
日隈 尚人

これまで二年間講師として学校現場で勤めてきましたが、今年度初めて、担任をさせて頂いたが、改めて教職という責任の重さとともに、やりがいを感じました。初めての担任の仕事は、分らないことばかりで、自分なりに一所懸命に取り組むものの、上手くいかないことも多く、悔しさやふがいなさを感じることもたくさんありました。その中で、この一年先輩の先生方や保護者の方々に支えていただきました。そして、何より目の前の子供たちに支えてもらいました。まだまだ至らないことばかりですが、これからも感謝の思いを忘れず、日々成長し続けられるように頑張っていきたいと思います。



本渡中学校
栄養教諭
稲田 愛

本渡中学校・本渡学校給食センターに赴任して、早いもので一年が経とうとしています。分からないことも多く、周りの先生方や給食センターの方々に助けていただいたばかりでしたが、たくさんの方々の学び、充実した日々を過ごすことができました。これまでも、子供たちに給食を通して食に興味を持ち、食べることの大切さや楽しさを感じてほしいという思いで、献立の工夫や食育に取り組んできました。失敗や反省もたくさんありましたが、周りの方々の支えと子供たちの笑顔に励まされ、乗り越えることができました。今後も初心を忘れず、謙虚な気持ちで日々精進していきたいと思います。



亀川小学校
教諭
小畑 和美

亀川小学校に赴任して早くも一年が経とうとしています。四月当初に「分らないことは必ず質問して解決する」と心に決め臨みました。休校など例年と異なる日々で、自分なりに学習内容の定着や、子供の居場所づくりに奮闘しましたが、焦りと不安は否めませんでした。そんなとき、主任の先生をはじめ、先生方の温かい励ましや助言をいただきました。学校全体で支援してくださる体制に感謝の気持ちでいっぱいです。おかげで、子供たちが「先生」と集まってくる。毎日笑顔に囲まれ幸せに過ごしています。今後も感謝の気持ちを忘れず、子供たちの笑顔のために精進していきたいと思います。



有明小学校
教諭
前田 卓朗

四月から統合三年目の有明小学校に勤務することになり、一番思うのは先生方や子供たちへの感謝の気持ちです。本校は新採である私にとって恵まれた環境でした。周りの先生方から教職についての多くを教えていただき、至らない点も手とり足とり補っていただきました。しかし、実際の教職の難しさや忙しさは教育実習とは全く違う想像を超えるものでした。勤務中は常に気が抜けず、重圧と格闘しているようで苦しいこともあります。しかし、それ以上に子供たちの笑顔や先生方の助言に助けられています。三学期は少しでも先生方や子供たちに自分の力で恩返しができるように努力していきたいと思います。



登立小学校
教諭
野村 祐佳

登立小学校に着任して、早いもので一年が経とうとしています。私は、他県で初任を経験しました。初めは前任校との違いも多く、戸惑うことばかりでした。しかし、「困ったことはないですか。いつでも言ってくださいね。」という先生方の温かい言葉が支えとなり、乗り越えることができました。また、子供たちにも支えられた一年でした。例年とは違うことも多くある中で、その時、その時にできることを一生懸命頑張る子供たちの姿を見て、私も頑張ろうと改めて思うことができました。次年度は、学校に、そして、子供たちにもっと貢献ができるような教員を目指して日々励んでいきたいと思います。



阿村小学校
教諭
松田 航

阿村小学校に着任し、一年が過ぎようとしています。初めてのことが多く、戸惑い、悩むこともありました。しかし、子供たちと一緒に学び遊ぶ中で、日々パワーをもらい、一年間頑張ることができました。先輩の先生方には国語や算数、道徳などの指導方法や生徒指導に関するアドバイス、校務分掌の業務の進め方など、教師としての大切な知識や技能について丁寧に指導していただきました。また、保護者や地域の方々に対しても感謝の気持ちでいっぱいです。今の気持ちを忘れることなく、更に高い目標を掲げ、チャレンジしていきます。子供を見つめ、ともに学び成長する教師を目指します。



佐伊津小学校
事務職員
下村 理沙

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修などが中止となり、例年と流れが全く違うことで不安も多くありました。しかし、天草中央学校事務センターの先輩方や佐伊津小学校の職員の方々が丁寧に指導してくださり、無事に業務にあたることができました。沢山の方々に支えられた一年間、たとえ痛感します。二年目は、教えていただいたことを活かしながら、まず自分の力でできることを増やしていきたいと思います。そのために、謙虚な姿勢を忘れず、少しでも子供たちや先生方のお力になれるように、業務に励もうと思います。



龍ヶ岳小学校
養護教諭
大谷 佳那子

「養護教諭」として一步を踏み出したの間、ほんの数日、子供たちと会えただけで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校となり、寂しさを感じました。それとともに、子供たちがいるからこそできる仕事であり、子供たちの命を守る大きな責務があるのだと改めて感じました。子供たちと一緒に学校で過ごせること、保護者・地域の方々にたくさん協力をお願いしていること、先生方に様々な場面で助けていただいていることへの感謝の気持ちを忘れず、これからも、養護教諭一人ではなく、学校チームとして取り組んでいきたいと思います。

天草教育研究所

各部門から

県大会に向けて

1年間を振り返って

第五十五回熊本県中学校社会科教育研究大会 宇城・天草大会に向けて

社会科部門 会長 大平 宏

社会科部門では、来年度の宇城・天草大会に向けて、研究テーマを「よりよい社会の担い手に必要な資質・能力を育む学びの創造」→社会的な見方・考え方を働かせる単元デザイン工夫を通してと新たに設定し取組を始めました。社会科部門では、これまでも単元の全体構想を大切にしながら魅力ある課題設定に力を注いできましたが、見方・考え方を育成する視点を中心にアプローチしていきたいと考えています。

また、本テーマは「熊本県の学び推進プラン」の「大

十一月五日の午後には小中合同の会員研修会を行いました。講師には、昨年度まで熊本県教育庁義務教育課指導主事として「熊本の学び推進プラン」の策定に携わられた上天草市立松島中学校教頭の谷上健作先生をお迎えしました。

算数・数学部門

会長 渡邊 和也

本年度は十一月二十日の授業研究会に向けて、事前研究会では見方・考え方を働かせる学習活動を生み出すための教師の役割を中心に検討を重ねて参りました。単元内容、問いの構造

策定の経緯や大切なポイントについてご講話をいただき、後半の演習では、学習構想案作りにおける学習評価、単元終了時の子供の姿、単元を通じた学習課題

供たちの学びの姿を見ることで、



家庭科部門

会長 小田原 美芽

今年度は、八月六日、天草市立本渡東小学校において、蛇の目ミシン工業株式会社の内田植之氏を講師にお迎えし、講話「ミシンのトラブル対応や指導のポイント」の後、実技研修「はぎれを活用した小物作り」を実施しました。

家庭科指導で課題が大きいミシンの研修を実施し、専門家の方に具体的な指導をしていただき大変参考に

第六十一回熊本県小学校理科教育研究大会 天草大会の延期

理科部門 会長 富崎 純弘

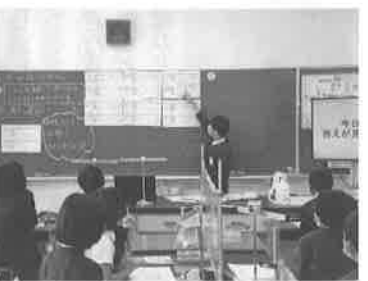
理科部門では、令和二年度に第六十一回熊本県小学校理科教育研究大会天草大会を開催する予定で準備を行って参りました。しかしながら、令和二年度がスタートしてすぐ、新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休業となり、六月からの学校再開となりました。

会場校である天草市立亀川小学校においては、天草郡市理科部門の研究主題「未来を生き抜く力を育む理科学習の創造」→理科の見方・考え方を働かせながら科学的に問題を解決する

後半の実技研修では、和気あいあいとした雰囲気の中で作品作りを進めることができました。同時に、家庭科学習についての情報交換を行ったり、親睦を深めたりと参加者にとって有意義な研修となりました。

生活・総合的な学習の時間

会長 伊津野 隆之



七月八日(水)には、亀川小学校において県小理の研究員松山明道先生を招聘し、理論研修を行い研究の方向を確認しました。

八月五日「生活科・総合的な学習の授業改善」を演題に、熊本県立教育センター指導主事前田理代先生に講話をしていただきました。子供たちの見方・考え方を教科としての見方・考え方に誘っていくことが大切で